



第 26 号

発行／社会福祉法人素心会 素心学院  
責任者／彦坂 健一郎  
〒259-01 神奈川県中郡大磯町虫塚24番地  
TEL 0462-21-1255番

# 1996 納涼祭&運動会



虫窪24番地

「後悔先にたたず」という言葉がある。多数の人が、一度後悔すると、反省し、学習をして同じ過ちを繰り返さないように、反して、思いつきでろくなに考えもせずに行動してしまった。短絡思考の人間は、度々この言葉の洗礼をうける。

以下に私の「後悔」を、反省と学習も含めて紹介する。

パソコンである。巷でいって、いろいろ騒がれ始めて、乗せられて買ってはみたが、使い勝手が悪いと、修理に出す。そこでお金を使つた。次こそ運転車を思いながら、同じことを二度繰り返している。

車である。中古でみて、いい良い安い物を買つたが、よく故障するので修理に車代と一緒にお金を使つた。次こそ運転理解できず、高価なファックツ付ワープロと化す。

お酒である。お酒の好きをなまけて、経験済みと思われるが、一日酔いつゝ奴は「後悔」の代表選手である。お酒に意地汚ない私は、この類のエビシードが多々あるが、ここで紹介は遠慮させて頂く。

一発勝負でやり直しの出由代表選手である。人生はつづるもの。よくよせず、とりかえず反省だけは怠けずに、「これから先の人生をより明るく楽しいものにできたら」と、田う今日この頃である。

蛇足だが、職員になった裏と女房様と結婚した事は、夫いにも「後悔」していない。

せしん 第26号 1997.4. /発行

## ボランティア活動への LA・PORTE

「障害のある人やお年寄りに優しい町は、すべての人に対しても優しい町である。」

私たちと共に福祉を考え、支え、参加して優しい町づくりを目指しませんか

会員は個人 年一回1,000円です。  
団体・会社 10,000円  
会員には会報「そん」が郵送されます。



モスト企画  
役員

大磯町在住

活動にしてまいりました。以来  
会長として微力を尽くしてま  
いりましたが、長期の会長職に  
いたしましては反省をしておりま  
す。昨今、國の財政事情も悪化し  
つつあり、陳腐化した行政は  
大きな変革が求められ、特に  
厚生省の不祥事で福祉施設は  
少なからず影響を受けると予  
想されます。また、素心の職員  
さんはもとより、素心を支え  
る多くの皆さん、さらなる  
ご支援をお願いして、退任の  
ご挨拶とします。

くださいました水澤様に代り、この度微力ではあります  
が、お引き受けいたしました。  
友人の紹介で当学院の後援会に入りそして役員をさせて  
いただき、初めて福祉事業に事されている職員の皆様の  
事の大変なこと、又福祉活動の重要性を感じました。  
私たちの回りをみてもまだボランティア活動の  
参加が不足しているのではないかと感じます。

一九九六年九月一八日未明寺本一子さん(二五)が「ごんかん発作による急性心不全」の為逝去されました。慣んで御冥福をお祈り致します。

『寺本さんう。でももういろいろなをしてみたか。そのうちに年が五〇年になたのと、で、しばらくい。あなたのと、私達がチャなことと、こんなことをお話を

本当にありがとうございます。  
少し、ちょっとね。残念です。  
、そう、あと三ヶ月。  
するのみんなで、  
ころへ行きます。  
く待つていて下さい。  
がやり残した事  
レンジして、あ  
なことたくさん  
しに行きます。

# 編集後記

本さん、本当にありがとうございます。心臓が夜中に暴れ出した

# ボランティア素心



兵舎に居る仲間は人間とは思えず、只管婆の人が恋しく、自分の面会人でもない通が遠くの面会所にちらほら見える人影を呆見していたことを思い出し、或いは私の想い違いかもしれないが、院生も親兄弟と別れ学院生活の身。そのような院生がボランティアのオバチャンの方を恋しがる心の奥には、木曜日に見る年配の女性はボランティアでもオバチャンでもなく絶ゆることなく恋い慕う母や姉に写るのではないだろうかと思いまし

ボランティアのメンバーにこれを話した處、非常な喜びでした。庭の掃除や草取りをする姿が

昔から情けは人の為ならずと言われたが、その言葉の中に巡めぐって自分のためと修養的教育の感があります。

ボランティアは公的機関の行べき福祉業務の補佐を志願して奉仕活動をすることあります。

私は6年前にすすめられて大磯町グループボランティアのワーカーに加入し、又4年前からはボランティア素心にも入り活動中です。ワーカーは10人の男性の集まりです。学院の内外の草刈りや荒っぽい作業を年2~3

院生の目を、心を癒すボランティアなりしかと。アモリ見返を求める奉仕ではなきも、悲しいにせよ嬉しいにせよ心に響く事が生きがいではないでしようか。

貪欲に目がくらみ、収賄贈賄花盛り。犯罪競争に明け暮れる今の世に、貴く仰ぐボランティア。

院生高々飛ばせ躍げり  
わが作り  
与えやりたる竹とんぼ

院生の中には私たちと会話をすることもないのに顔馴染と思えるのか、私が朝事務所にて会議等に出席しています。私もこれらの作業と諸道具の手入れ整備、又グループボランティア素心の代表として会

院生の上にも三年とか、

院生の中には私たちと会話をすることもないのに顔馴染と思えるのか、私が朝事務所にて会

院生の鍵を借りに行くと必ず2~3人近寄ってきて「キヨウだよ」と答える。只それだけの会話である。

「ん、今日は来る木曜日だよ」と答える。私は「オバチャヤンクルモクウビ?」と聞いてくる私が、院生が、院生の目を、心を癒すボランティアなりしかと。アモリ見返を求める奉仕ではなきも、悲しいにせよ嬉しいにせよ心に響く事が生きがいではないでしようか。

陰も日向もなき人に光を注ぐ素心に学ぶ院生のままの生きがいではないでしようか。

このようにして、わたしたちはボランティア活動を通して社会経験を積み、サークルの仲間と共に学び合っています。

東海ワークキャンプは、三十年前に東海大学の公認サークルとして発足しました。そのサークルは、ボランティア活動を行なうことを活動方針としました。

以後、三十年間にわたり、福祉のボランティア活動を続け、当初は数名だった会員も、現在では五十数名を擁するサークルとなり、十五以上の福祉施設や団体と関わらせていただいています。

現在の活動内容は、毎週日曜日に素心学院と他施設をそれぞれ訪問し、午前中は掃除、午後は施設の利用者の方達と一緒にレクリエーションをして楽しんでいただいている

このようにして、わたしたちはボランティア活動を通して社会経験を積み、サークルの仲間と共に学び合っています。

このようにして、わたしたちはボランティア活動を通して社会経験を積み、サークルの仲間と共に学び合っています。



## 東海大学 ワークキャンプ

# ワークマン

回実施しています。

ボランティア素心は女性が16

人、男性が1人で、3人一組

が週1回木曜日に奉仕しま

す。庭一円の清掃、草取り、

花壇の手入れ、植木の簡単な

手入れ等を行っています。



ボランティアは誰のため

杉田 寿雄

昔から情けは人の為ならずと

言われたが、その言葉の中に

は巡めぐって自分のためと

修養的教育の感があります。

ボランティアは公的機関の行

べき福祉業務の補佐を志願

して奉仕活動をすることあ

ります。

私は6年前にすすめられて

大磯町グループボランティア

のワーカーに加入し、又4

年前からはボランティア素心

にも入り活動中です。

ボランティアは10人の男性の集

まりです。学院の内外の草刈

りや荒っぽい作業を年2~3

回実施しています。

ボランティア素心は女性が16

人、男性が1人で、3人一組

が週1回木曜日に奉仕します。庭一円の清掃、草取り、花壇の手入れ、植木の簡単な手入れ等を行っています。

私もこれらの作業と諸道具の手入れ整備、又グループボラ

ンティア素心の代表として会

議等に出席しています。

私もこれらの作業と諸道具の手入れ整備、又グループボラ

ンティア素心の代表として会

議等に出席しています。

私もこれらの作業と諸道具の手入れ整備、又グループボラ



（2）

# '96 私たちの

# えらぶ 旅のおもいで



伊豆松崎温泉  
7月9日(火)~10日(水)



那須高原 貸別荘  
9月2日(月)~4日(水)



伊豆稻取温泉  
5月21日(火)~22日(水)



日光・鬼怒川温泉  
6月4日(火)~6日(木)

道

標

平成7年12月、政府の障害者対策推進本部は障害者施設の実施計画となる「障害者プラン」を発表した。このプランは平成8年度から5年間にわたる重点施設実施計画である。

施設生活の質の向上、療育機能の強化。

重度化、高齢化への対応サービスの質的向上。

障害者やその家族の高齢化に伴う諸問題に対して適切な対応ができるように調査研究を進めること。

在宅サービスの拠点としての施設への期待を鮮明にしている事等に加えて、精神障害者更生施設、授産施設、グループホーム、福祉工場、等の整備目標を数値で示しており、今までにない画期的な内容となつている。

## ① 21世紀への福祉に向けて

厚木精華園 田代幹康

世界で一番進んでいるとい

われる北欧諸国の福祉を勉強したくて、7年間施設で働いて貯めたお金をはたいてデンマークに渡航した。これは、どんなことでも本物になるに

のを見て、経験しなければ、

海の向こうでは、入所型の施設を解体していると聞く。障害者は全員グループホームで生活し、日本では通所施設を通じて個人のニーズに合わせ、職員の配定数が決まり、必要なだけのサービスが受けられる様になつたと聞く。

この内外の変化の中で、我々施設職員も一的な価値観にとらわれず、利用者と家族、地域住民の期待に答えていく姿勢を身につけなければならぬ。

今後の施設福祉を考える上での目標となる「このシリーズを開始する事にしました」。

多くの方々、さまざまに切り口で、福祉、施設等に対する意見を語つてもあります。

最後に、筆者自身の意見を語ります。

日々の運営にあたる中で、自ら北欧福祉研究会などの運営をしており、北欧福祉モデルを広める啓蒙活動をおこなっている。また、今年、10月には希望者を募って、できるだけ若い職員も参加できるような安い費用で、デンマーク福祉視察研修旅行を企画した。それは、デンマークの各種施設訪問、現地の行政官、福祉施設所長、職員との討議も含めたとても有意義なものになった。

この視察旅行が実現したのも、デンマーク、ボーゲンセ市にある日欧文化交流学院の千葉忠夫氏の協力と、以前私が3ヶ月勤めていたこともあり

たのはそれから2年後のことだつた。自分が納得するまで、デンマークの各種施設で働い

たり、留学したかったからである。帰国してからしばらくは養護施設で臨時職員をしながら、デンマークで学んだことをや、体験したことをまとめたりしていた。しばらくして

現地に着任し、この企画について深い理解を示してくれたからである。

さて、デンマークに研修に

来た人々は皆一様に日本とデンマークとの施設等での遭遇が大いに違う事に感嘆する。

特別養護老人ホームは全員個室がありまえでバス・トイレ付き、自分が使っていた家

所有している。さらには現在は工具も持ち込めるし、ほとんどの人が個人の電話・テレビを

持つて、できるだけ若い職員も参加できるような安い費用で、もう一度と施設にはもどりたくないと言つて

D.K.)を増やしている。これにより施設に入所しなければならないが、この住宅に移り、安心して暮らしていけるようになつたの

である。一方、知的障害者の入所施設(重度)は、6~12人程が住めるよう、できるだけ家庭に近づくにつれて

いる。小金制の平屋で、3交替で常時職員が3~4人ずつ配置されている。これも個室があたりまえ、部屋には観葉植物ぬいぐるみテレビ、CDなど各自の私物が置いてある。しかし、最近では知的障害者も高齢者同様、各地域

に進んだ処遇状況を観察する事は大切な事である。確かにこの施設の状況である。確かにこの施設ではないということである。

以上が簡単なデンマークの施設の状況である。確かにこの施設にはもどりたくないと言つて

いる。(ここで気をつけておきたいのは、在宅介護＝家庭介護ではないということである)

安心して施設から地域の自分

のほとんどは、もう一度と施設にはもどりたくないと言つて

いる。このように、このようになつた。そして、このよう

な住環境に移った知的障害者を生活指導員が訪問援助す

る。このような方法により、いままで施設に入所していた

地域に生活指導員が配置され

ている知的障害者支援セン

ターを設け、そこから半径5~10km以内の普通の住宅地に分散して住んでいる知的障害者

を生活指導員が訪問援助す

る。このように、このように

の処遇の違いになる。ヨーロッパ評議会WHO高齢者問題専門官ニコル・デンマークを訪れた日本の福祉関係者が感嘆するところの日本

の処遇の違いになる。ヨーロッパ評議会WHO高齢者問題専門官ニコル・デンマークを訪れた日本の福祉関係者が感嘆するところの日本

の処遇の違いになる。ヨーロッパ評議会WHO高齢者問題専門官ニコル・デンマークを訪れた日本の福祉関係者が感嘆するところの日本

## 家族penリレー

うちの、お兄ちゃん

小林 知子

回収1班

家の中にある古新聞や広告

じように、整理をしているら

